

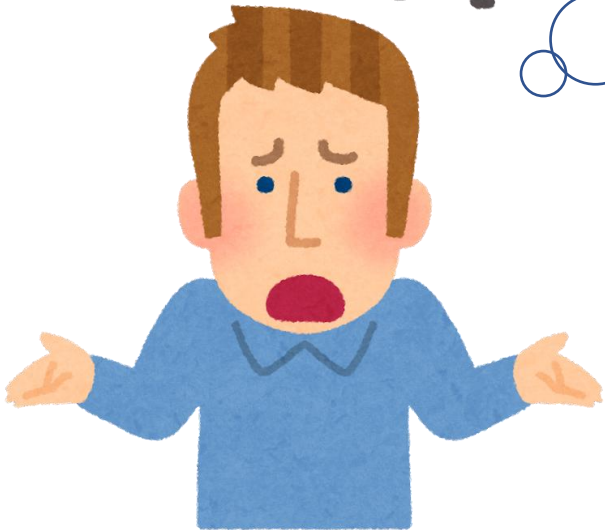
災害看護

Disaster Nursing



災害を勉強する
必要あるの？

WHY?



災害看護教育の必要性

- ・ 頻発する災害の発生により人々の災害に対する**危機意識**,
防災意識がたかまり,災害医療体制充実,医療者が果たす役割
の**重要性が強く認識**されてきた。
- ・ **看護師**が発生直後から中長期的なかかわり,医療現場だけでなく
避難所などで活動するなど**役割が大きくなっている**。

災害看護とは

災害に関する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開すること。

中長期支援も含む。

日本災害看護学会

災害看護 役割



災害看護の対象とは

分類	
一次被災者	災害に直接的に被害を受けた人々で,その災害を直接的な原因とした 死亡者・負傷者
近接被災者	間接的に物理的・社会文化的に影響を受けた人々 例) 住宅破損
周辺被災者	被災地域と強い関係を持ち,その結果として影響を受けた人々 例) 離れて住んでいる家族が被災者
進入被災者	被災地に外部から集まってきた人々 例) 救援者 ボランティア

1997年～

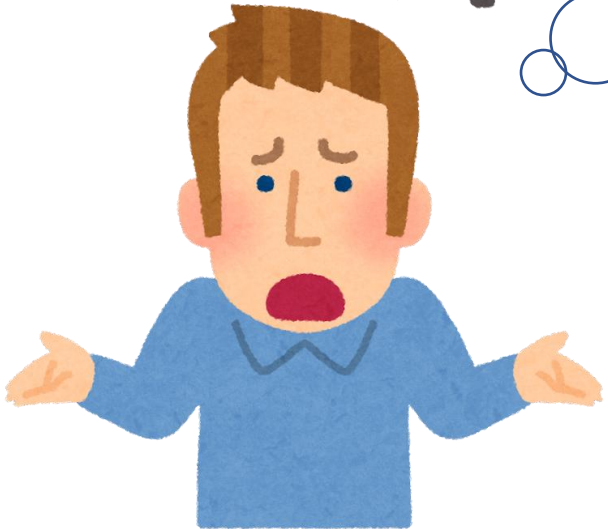
2022年まで

震度 6弱以上



定義は？

WHY?



国連による定義

広範囲にわたって人やもの 環境に損害をもたらす
ような また コミュニティの適応の限界をこえた
深刻な社会機能の崩壊

災害対策基本法による定義

暴風,豪雨,豪雪,洪水,高潮,地震,津波,噴火,その他の異常な現象,または大規模な火事,爆発,その他,その及ぼす被害の程度に応じて これらに類する政令が定める原因に生じる被害をいう

日本看護協会の定義

天災や人災と呼ばれる不測の時に多くの人々の生命や健康が著しく脅かされる状況であり地震や火災等による一時的な被害だけでなく **二次的な生命・健康への脅威**を含む



特徴は

医療・看護のかかわりをふまえて

とくに人々の **生命や健康の影響**から「災害」をとらえている

大規模災害とは・・・

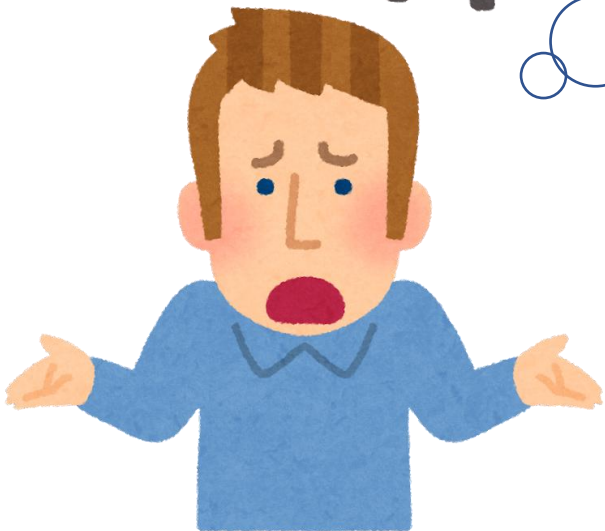
同時多発的な

喪失体験である



災害の種類？

WHY?



災害の種類

自然災害	地震 津波 台風 竜巻 洪水 干ばつ 地すべり 雪崩 森林火 災 火山噴火など (COVID19)
人為災害	交通事故：列車事故 高速道路 航空機 海難など
	産業事故：爆発 化学物質 毒物流出など
	テロ 暴動 戦争
特殊災害	核物質 生物剤 化学物質 ⇒NBC
複合災害	自然災害 人為災害 特殊災害が同時に起こったもの

N (nuclear) : 核

B (biological) : 生物剤

C (chemical) : 化学剤

NBC

近年は、ここに

R (radiological) : 放射線

E (explosive) : 爆弾

CBRNE

災害の種類

自然災害

人為災害

特殊災害

同時に起こることを、**複合災害**という

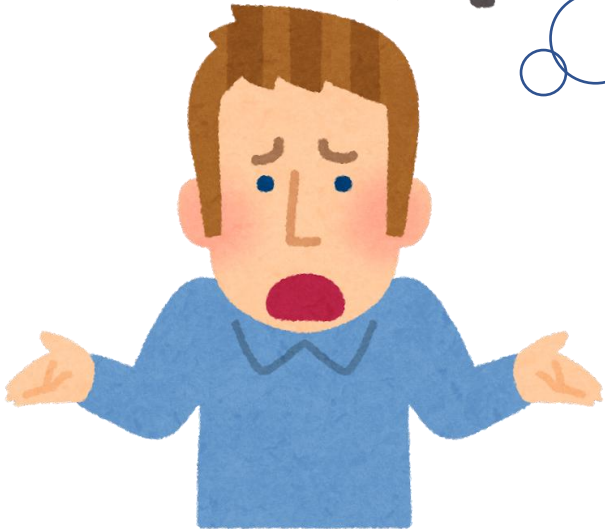
茨城県代表的な災害

- 1999年 東海村JCO事故
- 2011年 東日本大震災
- 2012年 竜巻
- 2015年 関東・東北豪雨
- 2019年 台風19号
- 2023年 台風13号



法律は？

WHY?



災害救助法 1947年

救助 + 援助

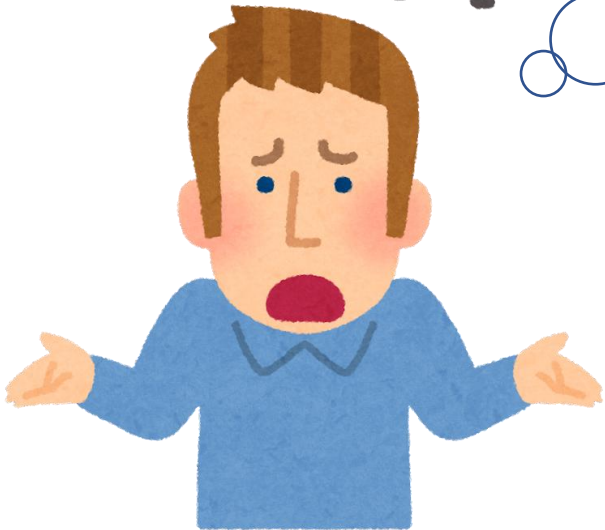
災害対策基本法 1961年

予防 + 対策

項目	災害基本法	災害救助法
役割	防災の全体的なルール 計画	被災者への具体的な応 急支援
主導権	国・自治体の管理体制	都道府県知事による 救助実施
対象	組織・計画・インフラ	被災した「人」
主な実施 内容	避難指示 対策本部の設置	食事、避難所、 仮設住宅の提供

災害サイクル？

WHY?



災害対応タイムライン：フェーズとケアのサイクル

静穏期（準備期）

個人・地域・組織における災害の備え
防災訓練 資機材の準備
救援ネットワーク

復興期（長期）

長期的こころのケア 健康生活支援
地域社会の立て直し支援

慢性期～復興期（フェーズ3）

フェーズ3（～数カ月）
自立支援 健康生活援助
こころのケア



超急性期（フェーズ0）

フェーズ0（発災直後～急性期）
初動体制づくり 救命処置 救護班確認
トリアージ



急性期（フェーズ1）

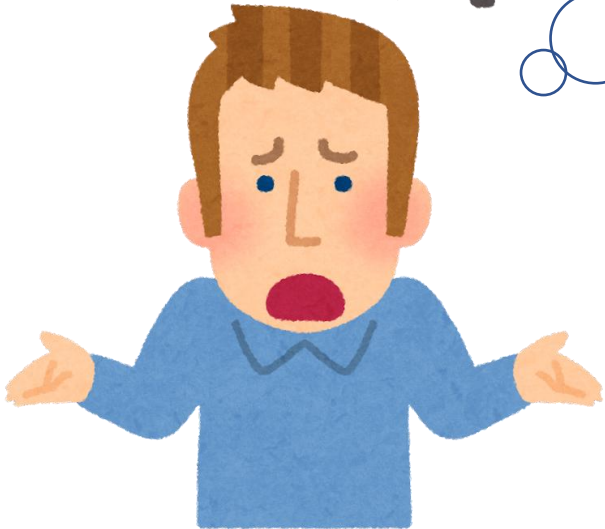
フェーズ1（～48時間）
トリアージ 救急看護 遺体の処置
こころのケア

亜急性期（フェーズ2）

フェーズ2（～3週間）
急性期 慢性期 心のケア
感染対策 リハビリテーション

救急医療と
災害医療の違い？

WHY?

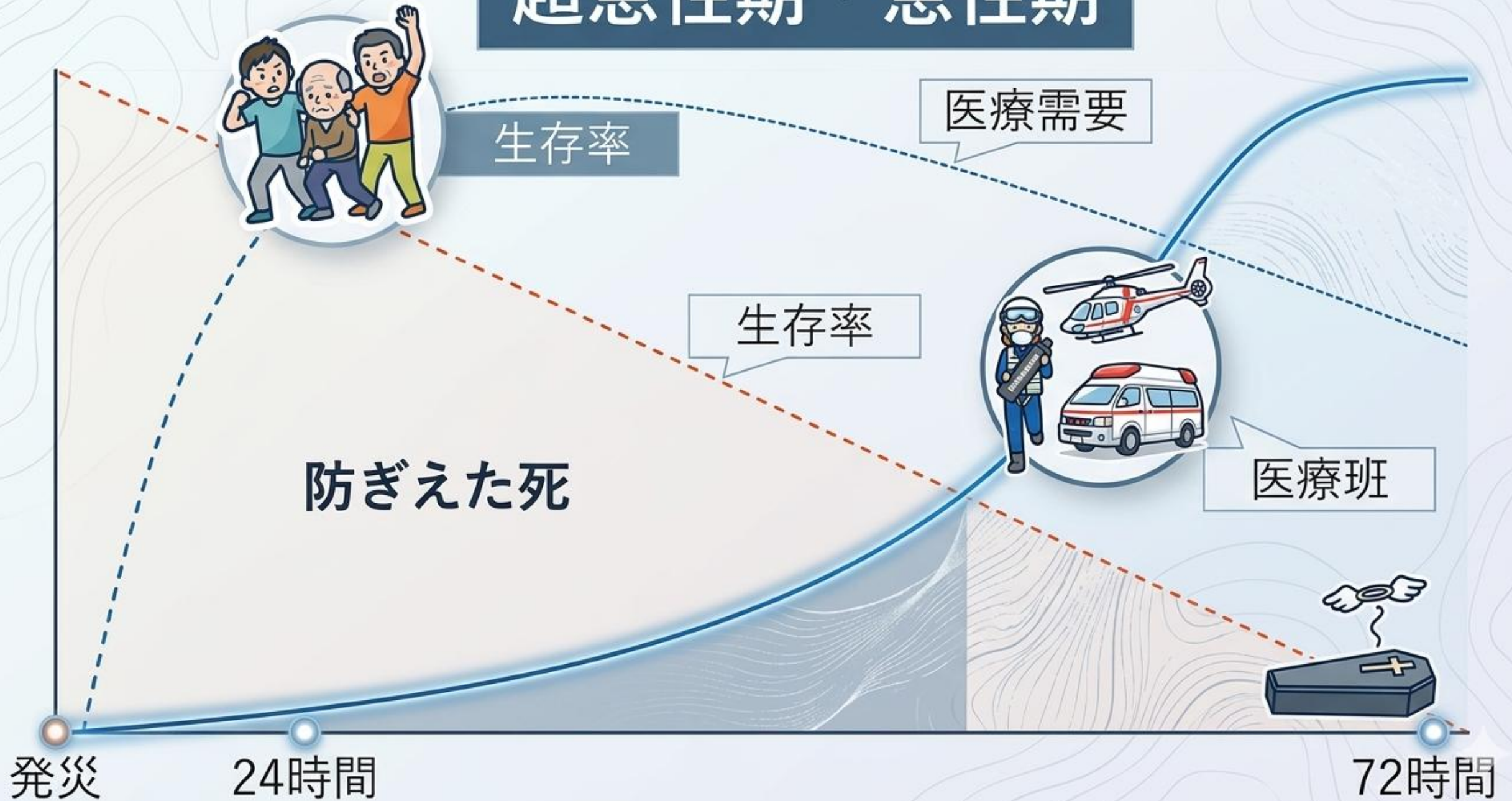


ずばり！

需要と供給のアンバランス



超急性期・急性期



災害時の支援時間経緯

発災

24時間

48時間

72時間

72時間以降

0h



DMAT



近隣 医療班



国内 医療班



現地 医療

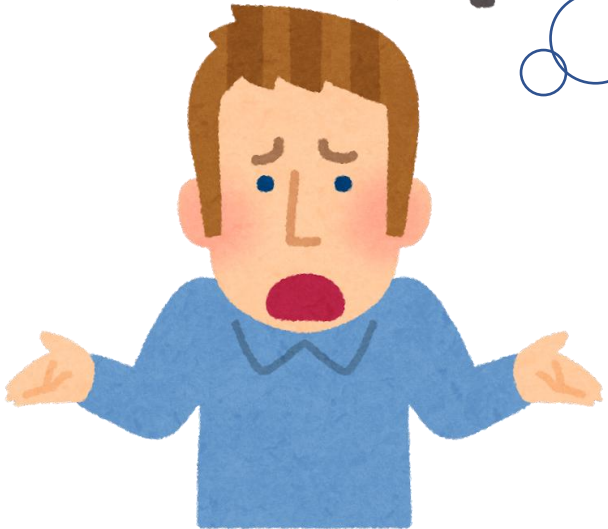
災害時に求められることは・・・

限られた資源の中で 最大限の命を救う



災害医療体制って？

WHY?





1995.1.17 阪神淡路大震災

死者 : 6,430人 負傷 : 50,216人

**平時の医療が提供できれば救命できた
被災者500名が存在した可能性あり**

医療の質の低下

	患者	医師	比率
神戸大付属病院	366	112	3.3
K病院	1033	7	147.6

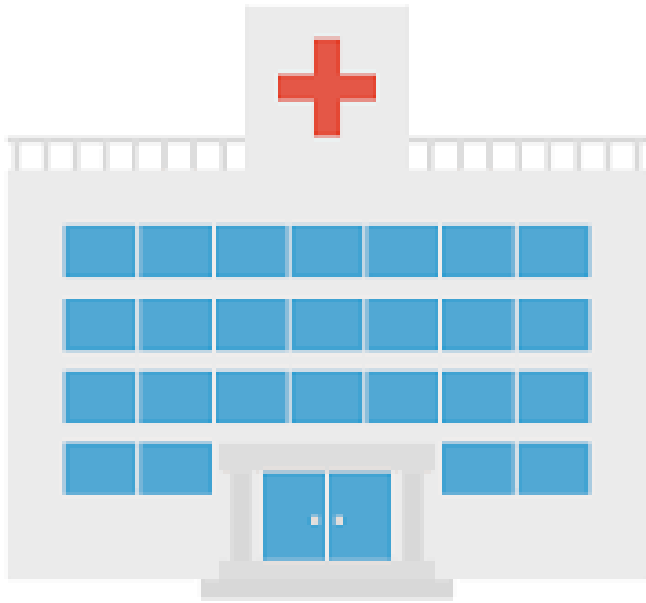
医療施設の被災，ライフラインの途絶，資源の枯渇，入院患者避難等，医療現場は混乱を極める。

通常の医療が提供できるか？

わが国の災害医療体制の整備

- ① 全国都道府県の災害拠点病院の指定 整備
(災害拠点病院は全国 732 病院 2018年 7月末現在)
- ② 災害情報ネットワークとして広域災害救急医療情報システム
(Emergency Medical Information System : EMIS) の整備
- ③ 災害派遣医療チームの育成
(Disaster Medical Assistance Team)
- ④ 広域医療搬送の整備

災害拠点病院



- ・ 災害時における初期救急医療体制の充実強化のための医療機関
- ・ 都道府県が指定
- ・ 救急センターおよびそれに準じる医療施設
- ・ 基幹災害拠点病院と地域災害拠点病院
- ・ 茨城県内 15施設（平成27年4月）



日本DMAT (災害派遣医療チーム)

- 災害時に被災者の命を守るため,被災地に迅速に駆けつけ 救急治療を行うため,厚生労働省の認めた **専門的な研修・訓練を受けた災害医療チーム**
- 構成 医師 看護師 業務調整員
- 超急性期に活動(発災～72時間)

日本赤十字社

災害救助法(昭和22 年法律第118 号)第1 条,
第31 条の2第1 項並びに同法第32 条の規定による委託事業

- 救護班の派遣基準

- 非常災害時において,傷病その他災やくを受けた者の救護のため,
必要があるとみとめられるとき.
- 災害のため医療機関が混乱し,被災地の住民が医療の途を失い,
人命保護のため必要があるとみとめられるとき.

- 1) 知事等の派遣要請
- 2) 都道府県との協定
- 3) 災害救助法第32 条の規定による自主派遣



災害支援ナース

- 被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように被災地で適切な医療、看護を提供する
- 都道府県看護協会に登録
- 看護協会の依頼により活動

JMAT

日本医師会災害医療チーム

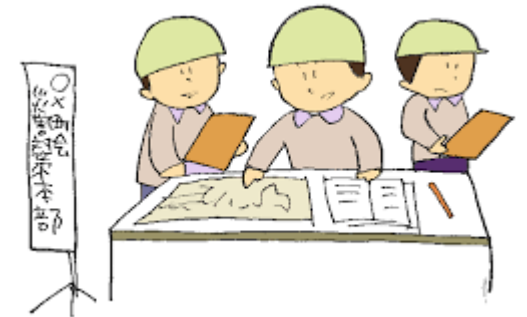
- **日本医師会**により組織される災害医療チーム
- 活動は災害急性期以降の医療や健康管理，病院診療所の支援，公衆衛生，医療ニーズの把握等．
- 避難生活が長期化し関連死，孤独死，心のケアなどに問題が生じる場合，JMATの派遣．



DHEAT

災害時健康危機管理支援チーム

- 健康危機管理に必要な情報収集・分析や全体調整などの専門的研修・訓練を受けた都道府県および政令指定都市の職員によって組織されたチーム
- 本庁および保健所に設置される健康危機管理組織における指揮調整機能を補佐する
- 情報収集,分析,公衆衛生対策助言,支援チームとの調整
災害医療コーディネーターとの連携



DPAT

災害派遣精神医療チーム

- 都道府県および政令指定都市によって組織される専門的な研修・訓練を受けた精神医療チーム
- 構成 精神科医師 看護師 業務調整員
- 活動期間 1週間が標準

※DMATと違い長期間派遣が継続される
数週間から数カ月継続される



DMORT

災害死亡者家族支援チーム

- ・ 災害急性期からの遺族支援
 - ・ 救急医,看護師,救急救命士,法医学者,心療内科,精神科医,警察,自衛隊などで構成
 - ・ 看護師が役割の中心を担うことが多い
- ※熊本地震では看護師が主要メンバーであった**



JRAT

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

災害弱者,新たな障害者あるいは
被災高齢者等の生活不活発病への予防を行う



JDA-DAT

日本栄養士会災害支援チーム

国内外で大規模な自然災害が発生した場合
迅速に被災地内の医療,福祉,行政栄養部門と
協力して,緊急栄養補給物資の支援など
状況に応じた栄養,食生活支援活動を通じて
被災地支援を行う

